

サイバー攻撃の衝撃

主な登場人物 長野 剛(ながの・たけし | おらが産業社長 | 54 歳) 浅川 真理(あさかわ・まり | おらが産業総務部長 | 32 歳)
石渡 徹(いしわた・とある | おらが産業総務部IT担当 | 32歳) 稲里 公輝(いなさと・こうき | ITシステム会社コンサルタント | 40歳)

BCP (事業継続計画) = 災害時に被災しても、主要な事業を継続できるようにしておくための計画・取り組み

突然の災害や事故が発生したら、あなたの会社は事業を続けられますか？この連載では、社員10人の小さな製造業「おらが産業」が、地域や会社にも襲いかかる災害や事故など、さまざまな危機に立ち向かう架空の物語を通して、事業継続計画(BCP)の必要性和その効果を描きます。危機に備えることが、どれほど大切かを一緒に考えてみませんか？すぐに実践できるヒントが見つかるはずです。

20××年7月3日、梅雨明け直後の蒸し暑い朝だった。総務部長の浅川真理

今回のポイント

- ① 重要な情報は、コピーまたはバックアップをとっておく。
- ② 会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管しておく。
- ③ PCやサーバー類は基本的なセキュリティ対策をしっかりと行っておく。

ず戻る保証はありません。」石渡は冷静に説明した。

「それで、どうすればいい？」長野は焦りを隠せない。

「まず、警察に届け出ましょう。そして、システムの復旧が可能かどうか、ソリューション会社に相談します」

数時間後、ITシステム会社のコンサルタント、稲里公輝が訪れた。彼は迅速に状況を分析し、深刻な表情で告げた。「残念ながら、現在の状態ではデータを完全に復旧するのは難しいです」

浅川が口を挟んだ。「実は、地震対策の

は、いつものように総務部のデスクでパソコンを開き、今月の売上データを確認しようとした。電源を入れ、会社のLANに接続した、次の瞬間、画面が突然真っ赤に染まった。そこには大文字で「ALL YOUR FILES HAVE BEEN ENCRYPTED」と表示されている。彼女は一瞬凍りつき、すぐに社長室へ駆け込んだ。

「社長、大変です！会社のサーバーがサイバー攻撃を受けました！」
社長の長野剛は目を丸くして浅川を見た。「サイバー攻撃、どういうことだ？」
浅川は震える声で説明する。「すべてのファイルが暗号化されたと表示されています。『ランサムウェア』の可能性が高いです」

「ビットコイン？」長野は首を傾げた。「デジタル通貨の一種です。匿名性が高く、サイバー犯罪でよく使われます。ただし、支払ったからといってデータが必

ず戻る保証はありません。」石渡は冷静に説明した。

BCPを策定してから、月に一度、外部サーバーにバックアップを取るようになっていました」

稲里は驚きの表情を浮かべ、「それは素晴らしい。バックアップがあれば、数日で元通りに復旧できます」と安堵の声を上げた。

「ただ、お客様の情報をネット上にばら撒かれる可能性があります」と稲里がため息混じりに話した。

「そもそも、それほど多くのお客様がいるわけではないので、顧客情報は電子データとして保管していません」と浅川は照

れくさそうに語った。

「でしたら情報漏洩の心配はありませんね」

その後、石渡と稲里が協力し、外部サーバーからデータを復元。おらが産業は大きな被害を免れた。

数日後、全社員を前に長野は語りかけた。「今回のサイバー攻撃で、ITリスクへの備えがいかに重要かを痛感した。ここからのBCPは、自然災害だけでなく、こうした新たなリスクにも対応する必要がある。皆で力を合わせて、さらに強い会社を作っていく」

ALL YOUR FILES
HAVE BEEN
ENCRYPTED

小さな会社でもできるBCPチェック

BCP (Business Continuity Plan：事業継続計画) と聞くと、なんだか難しく感じられるかもしれませんが、立派な計画を作る必要なんてありません。小さな会社でもすぐにBCPに取り組むことができます。大切なことは、どんな小さな取り組みでも、継続して行うこと！毎月1回、30分でもいいので、下記のような質問項目を参考に、何ができそうか考え、できるものから少しずつやってみてください。まずは、防災をしっかり行うことから始めてみるのも結構です。

リスク	内容
人的資源	緊急事態発生時に、支援が到着するまでの従業員の安全や健康を確保するための災害対応計画を作成していますか？
	災害が勤務時間中に起こった場合、勤務時間外に起こった場合、あなたの会社は従業員と連絡を取り合うことができますか？
	緊急時に必要な従業員が出社できない場合に、代行できる従業員を育成していますか？
	定期的に避難訓練や初期救急、心肺蘇生法の訓練を実施していますか？
物的資源(モノ)	あなたの会社のビルや工場は地震や風水害に耐えることができますか？そして、ビル内や工場内にある設備は地震や風水害から保護されますか？
	あなたの会社周辺の地震や風水害の被害に関する危険性を把握していますか？
	あなたの会社の設備の流動を管理し、目録を更新していますか？
	あなたの会社の工場が操業できなくなる、仕入先からの原材料の納品がストップする等の場合に備えて、代替で生産や調達する手段を準備していますか？
物的資源(金)	1週間又は1ヵ月程度、事業を中断した際の損失を把握していますか？
	あなたは、災害後に事業を再開させる上で現在の保険の損害補償範囲が適切であるかどうかを決定するために保険の専門家と相談しましたか？
	事前の災害対策や被災時復旧を目的とした融資制度を把握していますか？
	1ヵ月分程度の事業運転資金に相当する額のキャッシュフローを確保していますか？
物的資源(情報)	情報のコピーまたはバックアップをとっていますか？
	あなたの会社のオフィス以外の場所に情報のコピーまたはバックアップを保管していますか？
	主要顧客や各種公共機関の連絡先リストを作成する等、緊急時に情報を発信・収集する手段を準備していますか？
	操業に不可欠なIT機器システムが故障等で使用できない場合の代替方法がありますか？
体制等	あなたの会社が自然災害や人的災害に遭遇した場合、会社の事業活動がどうなりそうかを考えたことがありますか？
	緊急事態に遭遇した場合、あなたの会社のどの事業を優先的に継続・復旧すべきであり、そのためには何をすべきか考え、実際に何らかの対策を打っていますか？
	社長であるあなたが出張中だったり、負傷したりした場合、代わりの者が指揮をとる体制が整っていますか？
	取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めていますか？